

キャリア・ガイド ~進路の手引き~

Contents

第1章

考えてみよう！ 将来の自分の姿

第2章

高校について知ろう

第3章

受験を知ろう

第4章

志望校を決めよう

第5章

受験までの流れを知ろう

第6章

高校進学以外の進路

Appendix

保護者のみなさんへ

高校進学に向けての準備

付 録

資料

Contents

第1章 考えてみよう！ 将来の自分の姿	6
①卒業後のことを考えよう	6
②将来の自分の姿を思い描こう	6
③どのような仕事があるのだろう	7
④中学校卒業後の進路 ～どのような進路があるのだろう～	11
第2章 高校について知ろう	12
①高校に入ったら何がかわるの？	12
②高校にはどんな種類があるのだろう	16
③コース・学科を見てみよう	18
◆公立の高等学校	18
◆私立の高等学校	26
④高校の情報を集めてみよう	28
第3章 受験を知ろう	32
①公立・県内私立入試の違い	32
②公立入試のしくみ	32
③私立入試のしくみ	42
④受験勉強の進め方	44
第4章 志望校を決めよう	64
①志望校選びのポイント	64
②受験パターンを検討しよう	68
第5章 受験までの流れを知ろう	70
①受験までの流れを確認しよう	70
◎埼玉県公立高校出願の流れ	71
◎私立高校出願の流れ	74
②入試1ヶ月前の過ごし方	75
③入試前日の過ごし方	76
④入試当日	77
⑤面接はこのようなおこなわれる	78
⑥作文・小論文	82

第6章 高校進学以外の進路

①高等専門学校	84
②その他の進路	87

Appendix

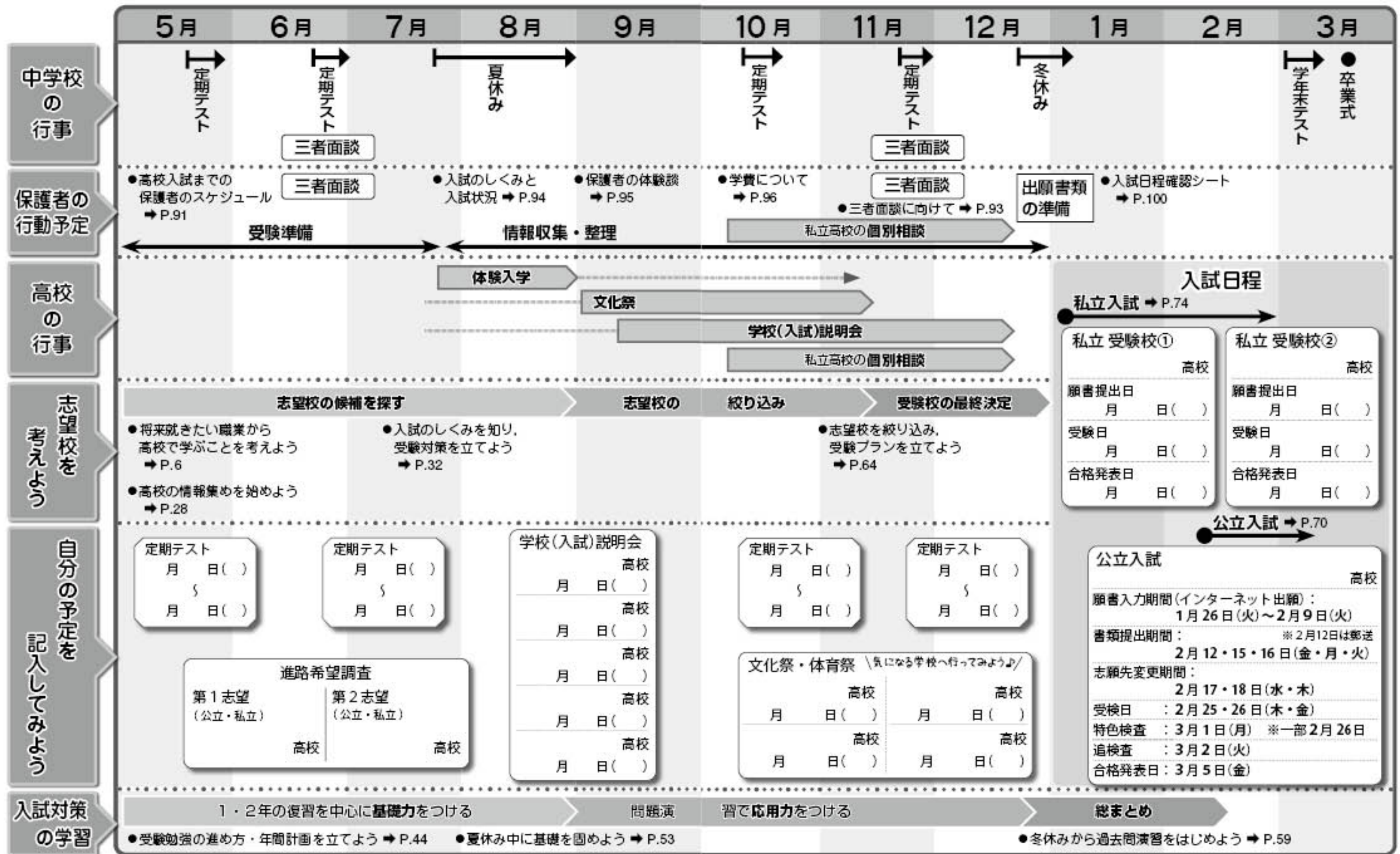
保護者のみなさんへ

①話し合いから始まる進路選択	90
②高校入試までの保護者のスケジュール	91
③入試のしくみと入試状況	94
④保護者の体験談	95
⑤学費について	96
●入試日程確認シート	100

資料

1. 県内 公立高校一覧	104
●全日制課程	104
●定時制課程(単位制)	112
●通信制課程(単位制)	112
◎県内公立高校エリア別MAP	114
2. 県内・近県 私立高校一覧	116
●埼玉県の私立高校	116
●東京都の私立高校	120
●千葉県の私立高校	130
●茨城県の私立高校	133
●栃木県の私立高校	134
●群馬県の私立高校	135
●神奈川県私立高校	136
3. 国立高校ほか学校一覧	138
●国立高校・高等専門学校	138
●高等専修学校	139
◎県内・近県の私立高校・国立高校MAP	140
◎都内アクセスMAP	141
◎都内(一部)の私立高校・国立高校・高等専門学校MAP	142

中学3年生の年間スケジュール



第1章 考えてみよう！ 将来の自分の姿

将来の自分の姿を思い浮かべてみよう！

いよいよ中学校生活最後の学年。みなさんは1年後にどのような進路を選ぶかを決めなければなりません。不安も大きいでしょう。しかしあせることはありません。まずは進路について考えてみることからスタートしましょう。

1 卒業後のことを考えよう

いよいよ3年生としての生活がスタートしました。みなさんは1・2年生と3年生の大きな違いがわかりますか？ それは「進路」です。3年生は中学校最後の学年なので、卒業後にどのような進路を選ぶのかを決めなければなりません。卒業後の進路は自分自身のこれから先の将来にも大きく関わってきます。大げさに言えば、一生に関わることをこの1年間で決めなければならないのです。残された時間は「あと1年」しかないのです。

また、義務教育は中学校で終了します。中学校を卒業してどのような進路を選ぶかは皆さんの自由な意思にまかされています。自由な選択とは…、それは自分で選択した結果については自分で責任を負わなければならないということです。ですから「みんなが行くから」というような安易な選択はできません。

ただ、いきなり卒業後のことを言われても、「どうしていいかわからない」と思っていることでしょう。ですが、あせることはありません。一つ一つゆっくりと、まずは進路について関心を持ち、考えることから始めましょう。

2 将来の自分の姿を思い描こう

中学校を卒業すると、大きく分けて進学するか、就職するか、どちらかを選択することになります。進学するにしろ就職するにしろ、まずは5年後、10年後、自分が何をしたいのか、どのような仕事をしていきたいのか、というイメージを明確にしておくことが必要です。何のために進学・就職するのか明確でなければ、途中で退学したり離職したりしてしまうことにもなりかねません。そのためには「合格できそうだから」とか「有名だから」、「給料が高いから」という理由だけでなく、自分自身の希望・能力・適性を生かすことができる学校や職場を選ぶことが重要です。

3 どのような仕事があるのだろう

◎役所での仕事

●公務員：

国の機関で仕事をする国家公務員と、都道府県や市区町村の役所で仕事をする地方公務員があります。人々の暮らしをより良くしていくうえで、なくてはならない職業です。幅広い知識のほか、奉仕の精神と責任感が必要です。

●警察官・消防官：

人々の安全な暮らしを守る仕事です。正義感・体力のほか、法律などについての知識も必要です。

◎法律の仕事

●裁判官・検察官・弁護士：

法律を専門に扱う仕事です。司法試験に合格し、司法修習生を経て、裁判官、検察官、弁護士のいずれかを選びます。

●裁判所事務官・検察事務官：

裁判所や検察庁で書類・記録の作成などの事務処理を担当します。それぞれの事務官採用試験に合格することが必要です。

◎お金を扱う仕事

●銀行員：

預かったお金を運用して利益を増やす等、個人や企業に関わるさまざまな業務を行う仕事です。金融・経済・法律・国際情勢などさまざまな知識が必要です。

●経理スタッフ：

会社などで現金の出納管理や給与計算のほか、資産運用などもおこないます。学歴や資格は問われませんが、簿記などについての知識が必要です。

●税理士：

税の専門家として顧客に代わって税務書類の作成や申請をおこないます。国家資格が必要です。

●ファイナンシャルプランナー：

顧客に将来の生活設計に関わる資産運用の方法を提案します。法律・経済・金融の専門知識が必要です。

◎情報処理関係の仕事

●システムエンジニア：

コンピュータで動作するシステムの設計や開発等を行う仕事です。大学や専門学校等で基礎知識を習得します。